

皆さん、おはようございます。

今日から2学期が始まります。37日間の夏休みでしたが、この間、いろいろなことが起こりました。ふり返ってみると、7月23日に、57年ぶりとなる東京オリンピックが開幕しました。その日、東京の上空では、ブルーインパルスによる五輪飛行が行われました。この様子をテレビ等で見た生徒もいるのではないかと思います。残念ながら、空には雲が垂れ込め、風もあったため、くっきりとした五輪の姿を目にすることはできませんでした。実は、57年前の1964年に行われた東京オリンピックの開会式でも、ブルーインパルスによる五輪飛行が行われました。その時、ブルーインパルスの5番機に搭乗し、赤色の輪を描いたのが、本校の卒業生である藤縄忠（ふじなわ ただし）さんでした。当時は専用のレーダーやコンピュータなどはなく、操縦士の視力と勘に頼るしかない状況の中で、晴れ渡った青空の下、みごとな五輪の輪を描くことができました。戦後の復興の象徴として、人々に希望と夢を与えてくれました。私は、本校にそのような先輩がいたことを誇りに思います。



(令和元年度 旭城会報より)

今回の東京オリンピックでは、コロナ禍での無観客開催という異常事態の中、メダルラッシュに沸きましたが、人権等に関する問題も噴出しました。このことも、私たちの記憶に留めておかなければならないのではないかと思います。

一方、本校の部活動などでは、オリンピックに負けず劣らず、皆さんの輝く姿をたくさん見せてくれました。先ほど、賞状伝達や部活動の報告がありましたが、中学の囲碁と将棋、水泳、テニス部、吹奏楽部、陸上競技部、体操競技、サッカー、バスケットボール部、そして、高校では、将棋、科学部、ボート部、陸上競技部、水泳部、SGクラブ・ディベート班、吹奏楽部の活躍など、枚挙にいとまがありません。

その中で、関東大会や全国大会で活躍した生徒を改めて紹介すると、中学では、囲碁の長崎航輝（ながさき こうき）君が全国ベスト16，将棋の石原橙真（いしはら とうま）君が全国ベスト8という快挙を成し遂げました。水泳の関東大会では、本間輝海（ほんま とあ）君、小玉智樹（こだま ともき）君、小野航河（おの こうが）君、的場康気（まとば こうき）君が、男子の総合で5位入賞、若林芽依（わかばやし めい）さんが女子200mバタフライ7位入賞など、めざましい活躍を見せてくれました。また、女子テニス部は、7年連続で関東大会出場を果たしました。

高校でも、多くの部活動等が全国大会に出場していますが、SGクラブ・ディベート班の王 一汀（おう いちてい）さん、内村悠之介（うちむら ゆうのすけ）君が、即興型英語ディベートの全国大会で、ベストディベーター賞を受賞するなど、大活躍しました。

改めて、皆さんの栄誉を称えます。

部活動以外でも、夏休み中に様々なチャレンジをした生徒がたくさんいました。「筑波エアロスペーススクール」に参加した青柳妃砂（あおやぎ きずな）さん、「AIG 高校生外交官プ

プログラム」に参加した篠原彩絢（しのはら さあや）さんは、オンラインではありましたが、全国の仲間達と貴重な体験をしたと報告に来てくれました。

このように、夏休み中も多くの学びやチャレンジがあり、皆さんが成長していることを、とても嬉しく思います。

さて、いよいよ2学期が始まります。緊急事態宣言の下、今日から時差登校、短縮授業となりますが、今後、皆さんの貴重な学び、今しかできない学びを止めることがあってはならないと考えています。

そのために、私たちがしなければならないことは、ただ一つ。学校の中でクラスター（感染者集団）を出さないことだと思います。

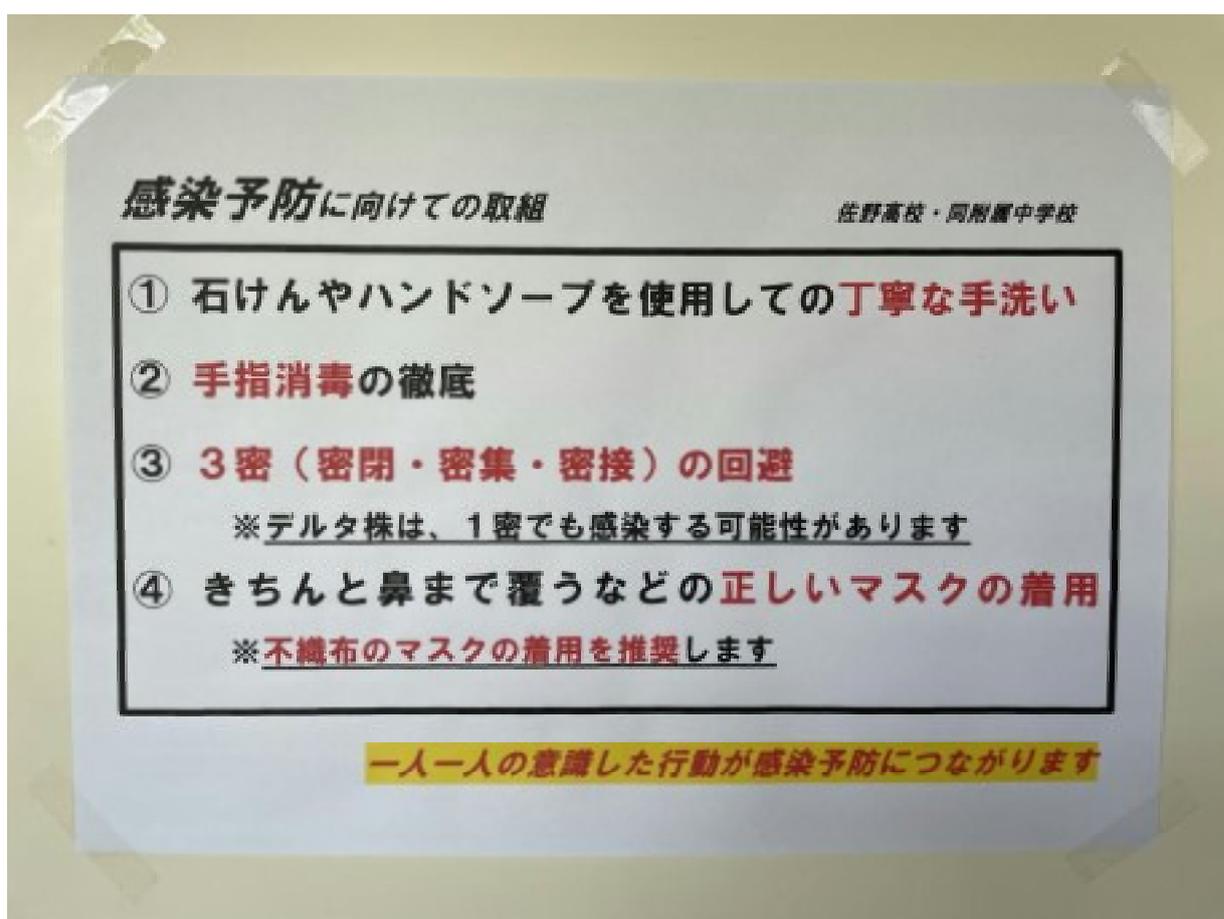
現在、栃木県の新規感染者数は、連日200名を超えています。感染力の高いデルタ株は、従来株の2倍の感染力を持っていると言われており、これまでだったら感染しなかった状況でも感染する場合があります。そのため、私たちが家族などを介して感染したり、濃厚接触者となることも、いつ誰がなっておかしくない状況になってきました。

皆さんはよく分かっていると思いますが、感染したり、濃厚接触となったことを責めることは、絶対にあってはなりません。むしろ、そういう状態に置かれた友達をどうやったら手助けができるか、を考えて欲しいと思います。

そのような状況の中で、私たちは、校内で絶対にクラスター（感染者集団）を出さない、という高い意識と危機感を持って、感染防止対策に取り組まなければならないと考えています。

具体的に、皆さんにお願いしたいことは、次の4点です。

- ①石けんやハンドソープを使用しての丁寧な手洗い
- ②手指消毒の実施
- ③密閉・密集・密接の回避（3密でなく、1密でも感染する可能性があります）
- ④正しいマスクの着用（感染力の強いデルタ株には、より性能の良い不織布のマスクを、きちんと鼻まで覆うことが効果的です。）



(各教室に掲示)

また、これまでに、学校の中でクラスターが発生した事例としては、教室内で会話しながら飲食をしたり、部活動などで、着替えをしながらマスクなしで話をしたりするような場面であることが多い、といわれています。皆さんも、この行動は大丈夫かな、というクリティカルシンキングを働かせて欲しいと思います。

2学期が始まると、大きなイベントである旭城祭が控えています。中高の実行委員や生徒会役員が、夏休み中も学校にきて準備を進めてきました。これから、クラス単位の準備も本格化しますが、その際、自分たちの行動が、感染リスクを高めていないか、常に、意識して欲しいと思います。皆さんなら、できると信じています。そして、旭城祭をぜひ大成功させましょう。

最後に、全てのことに優先されるのは、ここにいる皆さんの健康であり、皆さんの命です。体を大切に、そして、命を大切にしてください。

特に、夏休み明けは不安なことや心配なことを抱えていることが多いと思います。そんな時は、担任や養護教諭などに相談してみてください。その他、話しやすい先生なら誰でも構いません。話を聞いてもらうだけでも、気が楽になることがあります。

<参考> 他にも、こんな方法があります。

〇こころの相談@とちぎ
～LINEを使用した相談
→8/29～9/5 18時～21時



〇チャイルドラインとちぎ
～18歳まで、電話とチャット
→まいにち 14時～21時
0120-99-7777

〇栃木いのちの電話
→365日 24時間
028-643-7830

中学生、高校生の皆さんが、実り多い日々を送り、様々なチャレンジをすることを通して、さらに一步、成長する2学期となることを願って、校長式辞とします。